



ご家族さまへ

やさらかな 看取りのために

須高地域医療福祉推進協議会（須坂市・小布施町・高山村）

〒382-0091 須坂市大字須坂1391番地（須高医師会館内）

須坂市 健康福祉部 健康づくり課地域医療福祉ネットワーク推進室

電話.026-248-9101 FAX.026-248-9101

安らかな看取りのために

様々なご苦勞を乗り越え、ご自宅で療養を続けてこられました。ご本人の症状の変化から少しずつお別れのときが近づいている事を、ご家族の皆様も察していられるかと思います。

ご自宅で看取するためには、旅立ちに至るまでに見られる身体の変化をあらかじめ知り、どのように対処すればよいかを理解しておくことが大切です。その変化は全ての方に見られるわけでも、また、必ずしも順序どおりに起こるわけでもありません。**大切なのは、これから説明する変化が旅立ちに至るまでの自然な経過であるということです。**

このパンフレットは、ご家族が安心して在宅でのお看取りができますよう、ご本人が旅立たれるときの症状の変化を中心にお話しております。

ご本人が不快や苦痛を感じていると思われる時、またご本人の状態で分からない事や不安な事はいつでも訪問看護師にご連絡下さい。

1 旅立ちが近づいている時の状態

1 眼を閉じ、眠っている時間が多くなります。

→ 体力が低下し、起きていることができなくなります。
無理に起こさず、ゆっくり眠らせてあげましょう。

2 食欲が低下し、 食べたり飲んだりする量が減り、 時には全く食べられなくなります。

→ ご本人が食べたいと希望されるものを食べさせてあげて下さい。無理に食べさせる必要はありません。

3 時には穏やかでなくなり、意味不明な言動や 大声をあげる状態になることがあります。

→ そばに付き添い、穏やかに優しく語りかけたり、見守って下さい。時にはご本人のお好きな音楽を流すことも有効です。ベッドから転落などの危険もあるため注意してください。

4 便や尿の失禁が見られます。

→ 手足の筋力が落ちるように、便や尿を排泄する筋力も低下するために失禁が起こります。時間を見てオムツ交換しましょう。



5 唇や皮膚が乾燥します。唾液や痰が貯まり呼吸の際にゴロゴロという音が聞かれます。また尿量が減少し、時には全く出ないこともあります。

→ 水分量が少ないため、脱水の状態です。痰が絡んで苦しそうなときは吸引の必要もあります。口内が乾燥したら、濡らしたガーゼや綿棒等で口内を湿らせたり、口内用の保湿ジェルを塗ってください。

6 手足が冷たくなり、白～紫色になってきます。

そして身体の下になっている皮膚は暗紫色になることもあります。

→ 血液の流れが悪くなって来ています。手足の冷たさが気になる時は、掛け物で調整したり、湯たんぽなどを用いて保温してください。湯たんぽを使用する場合には、低温やけどに十分注意してください。

7 呼吸は変化しやすく、不規則になります。

時には 15 秒～ 30 秒ほど止まることもあります。

→ 慌てず見守って下さい。呼吸がしばらく止まったり、あごを持ち上げるような呼吸はお別れが近づいているサインです。会ってみたい人がいらしたら連絡をとってください。呼吸がしやすい体の向き（枕を外しあごを持ち上げる・体を横にする等）にして様子をみましょう。

8 呼びかけに対し反応がなくなります。

→ 耳の機能は最後まで保たれるといわれています。皆さんの声かけはご本人には聞こえています。思い出や感謝の言葉を掛けてください。

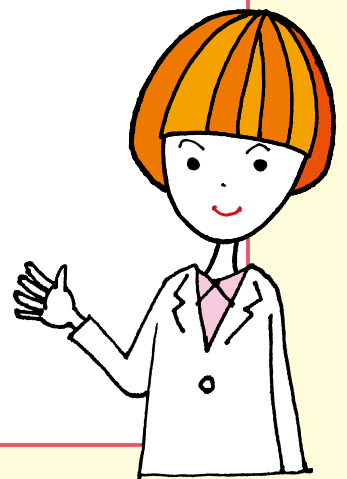
9 お看取り後に着る服のご準備をお願いします。

→ ご本人が用意されているものがあればそれを、ご家族が着せたいと思ったもの、ご本人が気に入っていたもの、思い出のものなど何でも結構です。

この時期は、一生懸命介護され緊張状態が続いているご家族にとっても辛い時期だと思います。ご自身の体調はいかがでしょう？可能であればご家族内で話し合い、交代で介護できるように調整されると良いでしょう。また、看護・介護サービスを増やすことも可能です。

ご本人にとっては住み慣れたご自宅で、ご家族の声を聞きながら過ごす事は何よりの喜びであると思います。何か特別のことはせず、ご本人の安楽を優先し、そばで見守ってあげてください。そして、いつものように話しかけ、手を握ってあげてください。きっとその言葉や想いはご本人に伝わっています。

何かありましたら、遠慮なくお声を掛けてください。ご家族の不安や心配を軽減し、落ち着いてお別れが出来ますよう、出来る限りお手伝いさせて頂きたいと考えています。

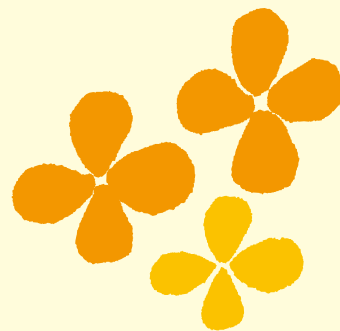
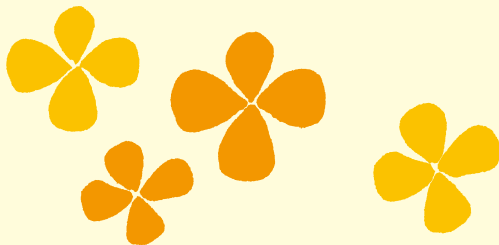


2 旅立ちが訪れたときの状態

- 呼吸が完全に止まり、胸やあごの動きがなくなります。
- 心臓の動きが止まり、脈拍が触れなくなります。
- 揺り動かしても、大声で呼んでも反応が全くなくなります。
- 手足の先の方から、徐々に紫色に変わってきます。

3 旅立たれたときの対応

- 1 慌てて、救急車や警察を呼ばないでください。
- 2 息を引き取られたら、まず訪問看護師に連絡してください。
医師と看護師が訪問し、医師が死亡確認します。
- 3 手足をまっすぐにし、眼や口が開いている場合は閉じてください。
口が閉じない場合は、たたんだタオルを丸めてあごの下へ入れておいてください。
- 4 ご家族は十分にお別れをしてください。
- 5 お体をきれいにさせていただきます。
- 6 医師より死亡診断書をお受け取りください。



連絡先